

NEW KOMETO 公明党 まっすぐ見つめ、まっすぐ進む。

さわやか通信

さわやか通信 vol.3



Sayaka Sasaki

http://sasaki-sayaka.com www.facebook.com/sayaka.sasaki.jp @sayaka_sasaki



メールマガジンの登録はこちら



参院本会議で消費者関連法案を質問!

会期148日間で行われた186回通常国会。政府・与党は重要な法案を数多く成立させた。5月16日参議院の本会議において、景品表示法改正案などが取り上げられ、佐々木さやかは初めて本会議質問に立った。昨年、問題化した食品の偽装表示などに対処するため、同法などの改正となったが、実効性あるものにするために、法案の考え方などを質した。森まさこ消費者担当大臣らが答弁した。

日中友好議員連盟で訪中!!

5月4日から日中友好議員連盟の超党派による訪中国に参加、北京を訪問した。中国側も今回の訪中団を重視し、中国共産党序列3位の張徳江全人代常務委員長との会談が実現。中日友好協会の唐家せん会長、中国人民対外友好協会の李小林会長とも会談を行い、関係修復へ向け話し合いを行った。



ごあいさつ

greeting

初当選から1年の月日がたちました。皆様から真心のご支援、ご声援を頂き、懸命に議員活動に励んでおります。1月から始まりました通常国会では、予算委員会、法務委員会、消費者問題特別委員会、憲法審査会に所属し、何日も連続して質問に取り組みました。また、毎月のように被災地を訪れ、週末は青年委員会や学生局の動きで各地を訪れるなど、精力的に活動しております。この夏は、いっそうの研鑽をして秋からの臨時国会、年末の予算編成に備えたいと思います。どうか皆様も体調などにお気遣いいただき、くれぐれも御自愛ください。



平成26年夏 参議院議員 佐々木さやか

topic

未来を担う若者に語りかける!

4月26日土曜日、幕張メッセでネット動画配信の国内大手ニコニコ動画の主催によるイベント「ニコニコ超会議3」が開催され、会場内は若者たちで大混雑となった。公明党ブースで佐々木さやかは青年委員会の議員たちと一緒に会場の若者に政治への参加を訴えた。

主催者発表では2日間で12万人が来場した。

若い世代の可能性を開くために、佐々木は18歳投票権について若者や識者の意見を聞き、真剣に



6月18日 大学生と18歳選挙権の意見交歓

「ニコニコ超会議」幕張メッセに若者12万人が集った!!



ブース前で青年委員会の議員らと共にアピール

考えてきた。改正された国民投票法案では投票権の年齢を引き下げることに党学生懇談会で直接、大学1年生と対話して確認すると希望する人が多かった。自ら考え、議論し、意見表明することに自信が持てるような教育の実践が必要との識者の発言を深く考えさせられた。

pickup



●神奈川医療少年院視察

4月22日党法務部会で神奈川医療少年院を視察。出所後の生活ケアなどについて現場からの声を聞き、委員会で質疑に活かした。



●神奈川大で特別講義

5月17日特別講師として神奈川大学法科大学院に招かれ、国の「法曹養成」の状況、福祉との連携など、弁護士の新たな活動領域について講義した。



●ラジオ日本で生放送

5月28日ラジオ日本の「岩瀬恵子のスマートニュース」に招かれて早朝、生出演し、これまでの活動、女性・若者支援、震災復興などを話した。

「2020年イヌネコ殺処分ゼロをめざす」プロジェクトチーム座長に就任

党神奈川県本部 26年7月5日

全国では自治体に引き取られた犬猫数の約8割に上る16万匹以上の殺処分が行われている。人と動物が幸せに暮らせる社会をめざし、今後、県内の実態調査や啓発運動に取り組む。



初当選から1年！
ご支援、ご声援
ありがとうございます。

activity 1 西湘海岸の砂浜復元
国が事業着手

小田原市から二宮町を経て大磯町に至る西湘海岸。平成19年9月の台風9号で深刻な浸食被害を受けた。地元要望に応え昨年11月、佐々木さやかは、黒岩県知事らとともに太田昭宏国土交通大臣に申し入れた。対策を国の直轄事業で行うことに大臣は理解を示し、国の事業着手に至った。約181億円が事業に投じられ31年度までに完成予定。大型台風の波浪にも耐える砂浜が築かれることになる。



6月8日 神奈川・二宮町 西湘海岸保全事業着手式で太田国交大臣

activity 3 震災復興に真剣！
東北復興は日本再生のカギ

佐々木さやかは毎月のように被災地を訪れている。5月16日党福島県東日本大震災復興加速化本部のメンバーとともに、原発事故により全町民が避難している福島県楢葉町を訪問。避難指示解除準備区域に再編され、早ければ15年春以降に帰還が期待されているが、課題がまだ山積状態。町内にある約2,400戸のうち、少なくとも949戸が半壊以上(今年3月末現在)であり、劣化も進んでいる。カビの発生や雨漏り、ネズミ被害の家屋も多く、支援が必要。さらに、町民の放射線への不安も根強い。佐々木は町民に寄り添う取り組みの強化が求められていることを心から実感した。



6月16日 福島・楢葉町 JR竜田駅

activity 4 高齢者、
中小企業支援に全力

超高齢化社会に対応する、医療・介護総合確保法が成立した。住み慣れた地域で医療や介護などのサービスを一体的に受けられる「地域包括ケアシステム」が確立される。

佐々木さやかは予算委員会の質疑で、このシステムの中に、高齢者の詐欺被害などのトラブルに対応する弁護士も明確に位置付けるよう提案した。

今国会では「小規模企業振興基本法」が成立。今後、従業員数20人以下の企業を支援する。持続化補助金や様々な支援事業でサポートを行っていくことになる。



3月15日 参議院予算委員会

activity 2 次世代エネルギー普及に全力
水素デモプラント視察

二酸化炭素(CO2)を発生しない、クリーンな次世代エネルギーとして注目されている水素エネルギーを活用するため、デモプラント(横浜市内)を視察し、現在の稼働状況や今後の可能性などを探った。川崎市は水素ガスと天然ガスを混合して燃やす世界初の商用水素混焼発電所を、2015年をめどに建設することにしており、CO2の発生を抑制しつつ、安定した電力供給をめざす。佐々木さやかも大いに関心を持ち支援を約束した。



5月30日 水素発電デモプラント視察 横浜市

activity 5 女性の活躍を
応援！

佐々木さやかは真剣に仕事や子育ての現場で悩む女性たちの声を聞いている。4月には在宅で仕事が可能なテレワークの現状を視察した。また「女性元気応援プラン」の提言を党女性委員会とともに総理に手渡した。5月には静岡で大学生や民間会社、医療福祉現場で働く女性たちと女子会を開催、意見を交換した。女性が力を発揮できる社会づくりに、全力で取り組むことを決意した。



5月19日 子育て支援センター視察



4月22日 テレワーク視察・福島いわき市



5月14日 安倍総理に申入れ(官邸)



5月16日 女子会意見交換 静岡市